

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

1. 2021 年度の総括

<活動面>

昨年度に引き続き、コロナ・パンデミックが露わにしたジェンダー課題に関するセミナーやワークショップ活動を、会員によるワーキンググループとの協働や大学との共催などにより行った。特に、悪化するコロナ禍の下で東京オリンピック・パラリンピックが強行されるという状況の中、新自由主義的ジェンダー平等言説を批判するフェミニスト視点を明確にうちだして、他団体とともに反五輪キャンペーンに尽力した。

このほか、アフガニスタン侵攻とフェミニズムに関するオンライン集会の開催や、ナミビアからの留学生インターンを受け入れるなど、センターらしい国際的な活動も行うことができた。

一方で、事務所移転のため、移転先の検討・交渉や資料整理などに多大なエネルギーを費やすことになり、活動に関わる人手・時間・資金の不足は深刻である。

<体制面>

ウェブサイトの英語ページのリニューアルやウェブ・メールサーバー会社の切り替え、移転先探し、事務所内の資料等の整理など、事務所移転に向けた作業はかなり進展した。

昨年度より議論を続けているセンターの中期的あり方（事務所、会員制度、機関誌等）については、会員との話し合いや意見を聞きながら理事会で検討を重ね、具体的な提案をまとめることができた。

2. 2021 年度の活動報告

2-1. 出版事業

【総括】

『f visions』を年 2 回、英文機関誌を 1 回発行した。2 つの特集は相互に関連した充実した内容になったが、制作の人的負担や金銭面での

赤字も大きく、なお持続可能な発行形態になっているとはいえない。このためデジタルデータによる情報発信との関係も含め、来年度以降の発行形態について複数の案を検討した。

(1) 機関誌『f visions』

①発行

・03 号（2021 年 6 月発行）

特集『「復興開発」が押しつぶしてきたものは何か——脅かされる生活、分断されるコミュニティ』

・発行部数 750 部

・04 号（2021 年 12 月発行）

特集「東京五輪は何をもたらしたのか～フェミニスト視点で振り返る」

・発行部数 750 部

・発行：アジア女性資料センター

・発売：夜光社

②編集・製作体制について

フリーランス編集者の伊藤春奈さんに業務委託を行った。特集内容や執筆者については、理事および会員により構成された編集委員会で協議・決定して進めた。

③販売について

機関誌最新号のデジタル版に加えて、過去のバックナンバーを順次データ化・販売した。

卸売は昨年同様や夜光社に委託し、全国 200 以上の書店・大学図書館等に、『女たちの 21 世紀』No.80～100 と『f visions』No.1～4 までの 1700 部以上を納品した。

委託販売先（模索舎、PARC、忘日舎、B & B、イトセトラブックス）への訪問・営業により、機関誌やブックレット等の直卸を継続した。また、新たに日本語機関誌の取り扱いを追加する書店もある。

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

(2) 英文機関誌『Voices from Japan』

①発行

●36 号 (2022 年 3 月)

「From “reconstruction” to the Tokyo Olympics: A feminist perspective on what has been taken away」

・発行部数：100 部

(3) 販売部数

①『女たちの 21 世紀』および『f visions』

売上：599,163 円 (前年度：772,742 円)

予算比：76.8%、前年比：77.5%

各号販売部数 (※定期購読を除く)

特集 (ナンバー/発行年月)	2021 年度	2020 年度	2019 年度
【女たちの 21 世紀】 バックナンバー (1-85 号)	192	113	106
選挙の争点 (86 号/2016 年 6 月)	2	1	5
女性に押し寄せる新しい貧困 (87 号/2016 年 9 月)	5	3	11
「女性宰相」待望論の光と影 (88 号/2016 年 12 月)	2	2	5
震災は女性に何をもたらしたか (89 号/2017 年 3 月)	1	2	10
LGBT 主流化の影で (90 号/2017 年 6 月)	9	8	11
メディア・セクハラ (91 号/2017 年 9 月)	12	7	20
教育への国家介入 (92 号/2017 年 12 月)	2	3	10
女たちの戦前責任 (93 号/2018 年 3 月)	2	6	10
生活から問う改憲と天皇制 (94 号/2018 年 6 月)	5	5	17
「夫婦別姓」はなぜ阻まれ続けるのか (95 号/2018 年 9 月)	41	10	92
「女性活躍」を問う (96 号/2019 年 12 月)	6	8	77
女性の労働から日本の近代を問う (97 号/2019 年 3 月)	9	28	137
フェミニズムとトランス排除 (98 号/2019 年 6 月)	30	67	582

ジェンダー視点はどこいった？ (99 号/2019 年 9 月)	3	17	41
暴力扇動のダイナミズム (100 号/2019 年 12 月)	15	60	54
【f visions】 新型コロナウイルス禍とジェンダー (1 号/2020 年 6 月)	26	145	-
「慰安婦」被害者の叫びから何を受け取るか (2 号/2020 年 12 月)	86	62	-
「復興開発」が押しつぶしてきたものは何か——脅かされる生活、分断されるコミュニティ (3 号/2021 年 6 月)	80	-	-
東京五輪は何をもたらしたのか～フェミニスト視点で振り返る (4 号/2021 年 12 月)	18	-	-
合計	546	547	1188

②『Voices from Japan』

売上げ：17,100 円 (前年度：21,880 円)

予算比：57%、前年比：64%

各号販売部数 (※定期購読を除く)

特集 (ナンバー/発行年月)	2021 年度	2020 年度	2019 年度
バックナンバー (No.1～24)	2	6	1
A Hundred Years Since Japanese Colonization of Korea (No.25/2011/3)	0	0	0
Women Struggling through the Triple Disasters(No.26/2012/3)	0	0	0
Women in Okinawa (No.27/2013/3)	0	0	0
Gender Policy Under Far-Right Abe Administration (No.28/2014/3)	0	0	1
Hate Speech toward Women (No.29/2015/3)	0	0	0

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

New Immigration Policies of Japan (No.30/2016/3)	1	1	1
New Poverty afflicting Women (No.31/2017/3)	0	1	3
What did the Earthquake Disaster bring Women? (No.32/2018/2)	0	1	1
Constitutional Revision and the Imperial System of Japan(No.33/2019/2)	0	1	9
Fighting against persistent gender discrimination in Japan(NO.34/2020/3)	1	3	1
Japan's response to Covid-19: Feminist analysis and perspectives (No.35/2021/3)	8	-	-
From "reconstruction" to the Tokyo Olympics: A feminist perspective on what has been taken away (No.36/2022/3)	0	-	-
合計	13	17	15

③その他出版物

売上：43,675 円（前年度：56,500 円）

予算比：59%、前年比：77.3%

タイトル	2021 年度	2020 年度	2019 年度
半径 1 メートルからのジェンダーワーク集	5	14	7
資料館・博物館ブックレット①	16	4	5
資料館・博物館ブックレット②	10	3	1
キーセン観光 性侵略を告発する	2	2	0
アジアと女性解放	12	0	24
その他	8	3	15
合計	53	26	56

2-2. 教育事業

【総括】

2020 年同様、新型コロナウイルス感染拡大のため、対面でのセミナー、講師派遣などを行うことができない状況であった。その分、参加者の体調や場所に制約されないオンラインイベントの充実を図った。さらに、無料でオンライン読者交流会、他団体・大学との共催イベントを行った。

（１）COVID－19 とジェンダー

①フェミニスト原則にもとづく「コロナ後」の経済とは？ ～研究者・NGO 協働によるカナダの提言を学ぶ～（オンラインセミナー）

- ・立命館大学アジア・日本研究所と共催
- ・実施 2021 年 10 月 8 日（金）
- ・講師：カルミナ・ラヴァネラさん（Carmina Ravanera／カナダ・トロント大学ジェンダーと経済研究所研究員）
- ・参加者 55 名

②コロナ禍を生き延びるために：経験と課題を共有するフェミニスト・ワークショップ（連続開催・オンライン）

- ・実施：第 1 回 2022 年 1 月 8 日（土）
- ・コロナ禍の 2 年間に、日本・世界で何が起こったのかを、ワーキンググループが作成した年表をもとに振り返り、参加者同士の経験・思いを語り合った。
- ・参加者 13 名
- ・実施：第 2 回 2022 年 3 月 20 日（日）
- ・コロナ禍を生き延びるために、私たちになにができるのか、なにをすべきかについて考え話し合った。
- ・参加者 12 名

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

(2) 健康の権利とケアの平等

①健康の権利とジェンダーを歴史的に考えるオンラインセミナー

・「感染症と保健師—ハンセン病隔離行政と保健師活動を事例に」

・実施：2022 年 1 月 31 日（日）

・講師：木村哲也さん（国立ハンセン病資料館学芸員）

・参加者 12 名(申込 16 名、後日視聴 13 回)

②コロナ禍における移住女性の困難と連帯の可能性 ～リプロダクティブ・ライツの視点から～（オンラインセミナー）

・実施：2021 年 8 月 22 日（日）

・スピーカー：巢内尚子さん（ラバル大学大学院博士課程／東京学芸大学特任講師）

・ゲスト：高山ユキさん（カトリック信者、労働組合やカトリック難民移住移動者委員）

・参加者 24 名(申込 24 名、後日視聴 37 回)

(3) 機関誌発行イベント・交流企画

①『f visions』3 号発行記念イベント

「復興開発」が押しつぶしてきたものとは何か？～パンデミックと五輪の災厄下で問い直す（オンラインイベント）

・実施：2021 年 7 月 11 日（土）

・ゲスト：井谷聡子さん（関西大学文学部准教授）、武藤類子さん（原発事故被害者団体連絡会（ひだんれん）共同代表）、元橋利恵さん（大阪大学大学院人間科学研究科助教）

・参加者 38 名(申込 44 名、後日視聴 34 回)

②『f visions』No.3 オンライン読者交流会

・実施：2021 年 8 月 1 日（日）

・参加者 17 名

(4) 北京五輪に反対緊急企画「スポーツとジェンダーと五輪」（共催オンライン企画）

・実施：2022 年 2 月 5 日（土）

・登壇者：井谷聡子、本山央子、井谷恵子、いちむらみさこ、小林美香、堀江有里、伊藤春奈、松尾亜紀子

・視聴回数 778 回

(5) 教育機会の提供

①東京外国大学より留学生 1 名（ナミビア出身）をインターン学生として受け入れた。

・期間：2021 年 9 月 1 日～12 月 31 日

・内容：オリエンテーション、ミニ研究発表会、交流、事務所作業など

②有志メンバーによるフェミニズムについて学ぶ「フェミニズム・サークル」を発足した。定例会での読書会を月 1～2 回程度開催（2021 年 2 月～2022 年 3 月まで）、常時 3～6 名ほどが参加した。

2-3. 政策提言事業

【総括】

コロナ・パンデミックとジェンダー、東京五輪反対キャンペーンなど、以前から継続してきたキャンペーンを相互に関連付けながら、新自由主義的経済開発体制によるジェンダー平等の取り込みに対して、批判的フェミニスト視点を明確に打ち出し、センター独自の視点から社会的発信を行うことができた。

これらの課題は一過性ではないため、これまでの反省点と成果を総括しながら、来年度以降も展開させていく。

(1) 反五輪キャンペーン

①（6/23）東京大会 1 か月前の国際五輪デーに合わせて、国際フェミニスト連帯メッセージの呼びかけ、ウェブサイトで過去記事など関連情報を発信、東京五輪開催反対デモに参加した。

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

② (7/11) f-visions3 号発行記念イベントを開催した。教育事業 (3) ①を参照。

③ (7/23) 五輪開会式フェミニスト・スタンディングおよび SNS アクションをよびかけ、プラカードなどをもって 100 名以上が参加した。

④ (8 月・9 月) ジェンダー暴力対策に関する公開質問状・追加質問状を他団体との連名により提出した

⑤ (2/5) エトセトラブックスとの共催による北京五輪直前オンラインイベントを開催した。教育事業 (4) を参照。

⑥ 他団体との協力

(9/18) ふえみんオンライントークイベント、
(7/20) 私たちが止めるしかない 東京オリパラ
～女性たちの抗議リレーなどへ参加した。

(2) COVID-19 とジェンダー

教育事業 (1) ①および②、(3) ①および②で実施されたオンラインセミナー、ワークショップを通じて、コロナ禍におけるジェンダー不平等の課題を明らかにし、広く一般社会への情報発信、問題提起を行った。

(3) その他

① (11/21) ホームレス女性殺害 1 周年 追悼スタンディング

ノラ、ふえみんとともに呼びかけ主催した。70 人以上が参加し、いくつかのメディアでも取り上げられた。

② 政治にうんざりしてる場合じゃないわたしたち ～日本と韓国の選挙から考える～ (オンライン トーク)

・実施：3 月 12 日 (土)

・スピーカー：辻元清美さん (元衆議院議員・
立憲民主党参議院比例第 20 総支部長) / 申
キョンさん (政治学者、お茶の水女子大学教授)

(5) 連携キャンペーンの参加

① 24 条変えさせないキャンペーン

窓口団体として協力を継続したが、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

② 女性差別撤廃条約実現アクション

賛同団体として毎月の全体会議への参加、
7/25 女性の権利デーパネルディスカッション広
報などに協力した。また、東京都内の議会での
意見書採択を目指して、在京の賛同団体によ
る東京相談会が発足し、在京メンバーの一
員として協力する。

団体賛同・協力

(4/1) 「止まらぬヘイトクライムを非難し、政府に緊急
対策を求める声明」に団体賛同
(5/17) 要請書「新型コロナウイルス感染症に関わる
知的財産権免除支持への政策転換を」に団体賛同
(6/5) 「重要土地調査規制法案」に反対する緊急
声明に団体賛同
(5/31) 少年法改正案可決に抗議する緊急声明に
団体賛同
(6/2) 「日本政府はミャンマーに対する経済協力事業
の全面的な見直しを」共同要請書に団体賛同
(6/22) オリンピック反対のアクション会員との話し合い
(6/23) 反五輪共同デモ：オリンピックは私たちを殺
す！やらせるものが「犠牲の祭典」6.23 新宿デモ
(7/2) 「東京オリンピックにおける IOC/JOC による GPS
等による監視の撤回を要求します」に呼びかけ団体として
参加
(7/9) 「トランス差別に反対する国際フェミニスト声明
AN AFFIRMATION OF FEMINIST PRINCIPLES」
に団体賛同
(7/23) オリンピックに反対するフェミニスト・スタンディ
ングおよび SNS アクション
(8/16) 「東京オリンピック・パラリンピックにおける ジェ
ンダーにもとづく暴力・ハラスメント対策に関する質問状」提

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

出

(8/20)「アフガニスタン出身者を含む庇護希望者への迅速な保護等を求める声明」に団体賛同

(9/24)「東京オリンピック・パラリンピックにおけるジェンダーにもとづく暴力・ハラスメント対策に関する追加質問・要請状」の提出

(10/12) mネット・民法改正情報ネットワーク「選択的夫婦別姓を求める緊急院内集会」に団体賛同

(10/12) NGO ALTSEAN-Buruma「KDDI グループと住友商事は ビルマの非法治政権による人権侵害を助長しないでください」署名に団体賛同

(11/21) 渋谷区女性殺害事件から 1 年 追悼と連帯のスタンディング 暴力と排除に抗し、ともに生き延びよう

(11/30)【要請書】「ミャンマー：クーデターから 10 ヶ月 日本政府は国軍との経済的関係を断ち切ってください」に団体賛同

(12/22)「2030 札幌冬季五輪を止めよう！招致に反対する全国・全世界共同アピール」に団体賛同

(12/24)「ウトロ連帯ヘイトクライム根絶声明」に団体賛同

(12/20)「2030 札幌冬季五輪を止めよう！招致に反対する全国・全世界共同アピール」に団体賛同

(1/19) メコン・ウォッチ「日本政府はミャンマー国軍の暴挙を止めるために 日本からの国軍への資金の流れを止めてください」に団体賛同

(2/3)「表現の不自由展・東京」に団体賛同

(2/21)『NHK「河瀬直美が見つめた東京五輪」レガシーはこうして捏造される』に団体賛同

(2/21) ウィメンズマーチ東京 2022 に団体賛同

(3/4) STOP!「長期収容」市民ネットワーク「声明 #再収容を許さない」に団体賛同

(3/15)「はむねっと発足 1 周年ハイブリッド集会 あきらめずに声をあげよう！公務非正規から問う。このままでよいはずがない私たちの社会」に団体賛同

コロナ禍で落ち着かない中だったが、事務所移転のための物件探し、資料整理、センターの中期の方針や活動のあり方の検討、英語版ウェブサイトのリニューアル、会員と話し合う会の開催などを行うことができた。理事および監事が各 1 名新任、会員の微減状態は続いており、次年度以降に向けて具体的な対策が必要である。

(1) 理事会・運営体制

【理事】

＜継続＞ 本山央子（代表理事）、
清水さつき（副代表理事）、
船橋邦子、梁永山聡子

＜新任＞ 福田紀子

【監事】

＜新任＞ 小田原琳
＜新任・退任＞ 亀永能布子

(2) 事務局体制

週 3 日勤務のフルタイムスタッフ 2 名（森小百合、細島汐華）、週 2 日または月 2 日勤務のアルバイトスタッフ 3 名（古瀬菜々子、金理花、三輪正江）により、事務局運営を行った。通常業務に加えて、さまざまな活動の実施や事務所の環境整備、引っ越しのための整理などを進めることができた。勤務体制については、新型コロナウイルス感染防止に注力し、事務所出勤日・時間の調整やリモート作業を活用するなど、フレキシブルに対応した。

(3) 中期的な活動方針・財政計画等の検討

① 出版事業

これまでの会員との話し合いで出た意見を踏まえて理事会で複数回検討し、日英機関誌の発行形態について具体的な提案を作成した。また、会員との話し合いを開催し、次年度計画に反映した。

2-4. 組織基盤

【総括】

事務局はフルタイムスタッフ 2 名、アルバイトスタッフ 3 名の体制となった。また、日本語機関誌『f visions』の編集業務は、昨年に引き続き出版編集の実務者に委託し、変化がありつつも比較的安定した組織運営ができた。

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

②アーカイブ・資料整理

事務所所蔵の資料をリスト化し、保存・廃棄を進めた。所蔵する書籍については、応援ガレッジセールを実施し、希望者に販売した売り上げを引越しのためのカンパ・寄附とした。

③会員制度・活動について

年々会員の微減が続く現状をうけて、現在の会員制度・会費設定の見直しや、赤字改善のための打開策として、いくつかのアイデアを検討した。具体的な取り組み・制度について、次年度計画等で提案する。

④事務所移転について

引き続き移転先の候補地を検討し、複数の候補先の関係者との打ち合わせ・交渉を行った。最終的に江東区のマンション 1 室を、他団体との共同利用を前提に話し合いを継続している。

また、事務所の引き渡しに関する原状回復工事（スケルトン化）や引越費用等の分担について、女たちの戦争と平和人権基金の理事・弁護士との話し合いを行った。

(4) 財政基盤

①助成金、寄附金

「コロナ禍とジェンダー」および「健康の権利とケアの平等」に関する活動について、竹村和子フェミニズム基金を申請したが、助成を受けることができなかった。

受取寄附 186,920 円のうち、引越し応援ガレッジセールとして所蔵する書籍を譲渡の上集めたカンパは 148,100 円（約 30 名）であった。

②クレジット決済サービス

今年は検討する余裕がなく対応できなかった。クレジットカード利用のニーズも徐々に増えているため、今後よりアクセスしやすいクレジット決済サービスの導入を検討・実行したい。

③その他

共同事業：

引き続き DVD「女と孤児と虎」の販売を行った（収入：700 円、前年度 4,200 円）

物品販売事業：

引き続きトートバッグ（収入：1,200 円、前年度：12,100 円）、缶バッジ（収入：450 円、前年度：0 円）の販売を行った。なお、缶バッジは完売となった。

設備貸出事業：

昨年度に引き続き資料室、印刷機貸出を行った（収入：0 円、前年度：610 円）なお、従来事務所貸し出しをしている「環境とフェミニズムの英会話寺子屋」はオンライン開催となったため、利用がなかった。感染症対策などの影響により、近年は設備貸出のニーズも低下している。

(5) 会員数

会員数は 353 名（2022 年 3 月 31 日）。前年比▲32 名となった（2021 年度 385 名）

(6) SNS での情報発信

・Facebook のページの合計「いいね！」数：3,269（2022/3/31 時点）

※前年度 3,254（前年度比 100.4%）

・Twitter フォロワー数：7,067（2022/3/31 時点）※前年度 5,867（前年度比 120.4%）

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

【2021 年度の主な活動】-----

(1) 出版事業

- (5/21) 英文機関誌「Voice from Japan」No.35 のウェブサイト特別公開
- (6/18) 日本語機関誌「f visions」3 号刊行
- (6/22) 機関誌発送
- (8/1) 「f visions」3 号オンライン読者交流会
- (12/14) 「f visions」4 号発送作業
- (12/17) 「f visions」4 号発行

(2) 教育事業

- (7/11) 『f visions』No. 3 発行記念イベント
- (8/31) 共同声明「フェミニスト原則の再確認を呼びかける」を会員と読み考える会
- (8/22) オンラインセミナー「コロナ禍における移住女性の困難と連帯の可能性～リプロダクティブ・ライツの視点から」
- (10/8) オンラインセミナー「フェミニスト原則にもとづく「コロナ後」の経済とは？ ～研究者・NGO 協働によるカナダの提言を学ぶ～」
- (12/16) オンラインセミナー「帝国主義の暴力をくりかえさないフェミニズムのために～「9・11」・アフガニスタン戦争・ダーバン会議からの 20 年を再考する～」
- (1/8) コロナ禍を生き延びるために：経験と課題を共有するフェミニスト・ワークショップ 1 回目
- (1/25) インターン学生のミニ研究発表会
- (1/30) 健康の権利とジェンダーを歴史的に考えるオンラインセミナー
- (2/5) 北京五輪に反対緊急企画 オンライン「スポーツとジェンダーと五輪」
- (3/13) 政治にうんざりしてる場合じゃないわたちたち～日本と韓国の選挙から考える～オンライントーク
- (3/20) コロナ禍を生き延びるために：経験と課題を共有するフェミニスト・ワークショップ 2 回目

(3) 政策提言事業

- (4/1) 「止まらぬヘイトクライムを非難し、政府に緊急対策を求める声明」に団体賛同
- (5/17) 要請書「新型コロナウイルス感染症に関わる知的財産権免除支持への政策転換を」に団体賛同
- (6/5) 「重要土地調査規制法案」に反対する緊急声明に団体賛同

(5/31) 少年法改正案可決に抗議する緊急声明に団体賛同

(6/2) 「日本政府はミャンマーに対する経済協力事業の全面的な見直しを」共同要請書に団体賛同

(6/22) オリンピック反対のアクション会員との話し合い

(6/23) 反五輪共同デモ：オリンピックは私たちを殺す！やらせるものが「犠牲の祭典」6.23 新宿デモ

(7/2) 「東京オリンピックにおける IOC/JOC による GPS 等による監視の撤回を要求します」に呼びかけ団体として参加

(7/9) 「トランス差別に反対する国際フェミニスト声明 AN AFFIRMATION OF FEMINIST PRINCIPLES」に団体賛同

(7/23) オリンピックに反対するフェミニスト・スタンディングおよび SNS アクション

(8/16) 「東京オリンピック・パラリンピックにおける ジェンダーにもとづく暴力・ハラスメント対策に関する質問状」提出

(8/20) 「アフガニスタン出身者を含む庇護希望者への迅速な保護等を求める声明」に団体賛同

(9/24) 「東京オリンピック・パラリンピックにおけるジェンダーにもとづく暴力・ハラスメント対策に関する追加質問・要請状」の提出

(10/12) mネット・民法改正情報ネットワーク「選択的夫婦別姓を求める緊急院内集会」に団体賛同

(10/12) NGO ALTSEAN-Buruma「KDDI グループと住友商事は ビルマの非合法政権による人権侵害を助長しないでください」署名に団体賛同

(11/21) 渋谷区女性殺害事件から 1 年 追悼と連帯のスタンディング 暴力と排除に抗し、ともに生き延びよう

(11/30) 【要請書】「ミャンマー：クーデターから 10 ヶ月 日本政府は国軍との経済的関係を断ち切ってください」に団体賛同

(12/22) 「2030 札幌冬季五輪を止めよう！招致に反対する全国・全世界共同アピール」に団体賛同

(12/24) 「ウトロ連帯ヘイトクライム根絶声明」に団体賛同

(12/20) 「2030 札幌冬季五輪を止めよう！招致に反対する全国・全世界共同アピール」に団体賛同

(1/19) メコン・ウォッチ「日本政府はミャンマー国軍の暴挙を止めるために 日本からの国軍への資金の流れを止めてください」に団体賛同

(2/3) 「表現の不自由展・東京」に団体賛同

(2/21) 『NHK「河瀬直美が見つめた東京五輪」レガ

2021 年度事業活動報告

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

シーはこうして捏造される』に団体賛同

(2/21) ウィメンズマーチ東京 2022 に団体賛同

(3/4) STOP!「長期収容」市民ネットワーク「声明 #再収容を許さない」に団体賛同

(3/15) 「はむねっと発足 1 周年ハイブリッド集会 あきらめずに声をあげよう！公務非正規から問う。このままでよいはずがない私たちの社会」に団体賛同

(4) 運営関連

(4/11) アジア女性資料センターのこれからのあり方について話し合う会 3 回目

(4/13) JANIC グローバル共生ファンドの最終報告ヒアリング

(4/20) 4 月理事会

(5/14) 2021 年度臨時総会、2020 年度決算会計監査

(5/16) 2021 年度通常総会

(5/24) 5 月理事会

(6/14) 6 月理事会

(7/12) 引っ越し応援カンパガレッジセール

(7/14) 引っ越し応援カンパガレッジセール

(7/19) 引っ越し応援カンパガレッジセール

(7/12) 7 月理事会

(8/11) 8 月理事会

(9/9) 9 月理事会

(9/19) 臨時理事会

(10/12) 英語ウェブサイトのリニューアル

(10/12) 10 月理事会

(10/26) 引っ越し応援カンパガレッジセール

(10/29) 引っ越し応援カンパガレッジセール

(11/2) 引っ越し応援カンパガレッジセール

(11/6) 引っ越し応援カンパガレッジセール

(11/12) 11 月理事会

(12/3) 引っ越し応援ガレッジセール

(12/27) 12 月理事会

(1/4) 臨時理事会

(1/25) 1 月理事会

(2/21) 2 月理事会

(3/14) 3 月理事会

(3/27) 会員と話し合う会